

新型コロナウイルス感染症が

鍼灸師・鍼灸院に与える影響

新型コロナウイルス感染症の流行が進む中、4月7日、政府の緊急事態宣言に続き、13日に東京都からも休業要請を含む緊急事態が宣言されました。

鍼灸院は休業要請の分類には含まれないと発表がありましたが、自粛要請が続く中、営業を続けていく上でその影響は少なくないと思われます。

そこで、東鍼会ホームページを中心に、鍼灸業界の現状を把握するため、緊急アンケートを実施しました。

あくまでも現状把握だけですが、集計結果を共有します。ご協力いただいた結果を踏まえ、業界団体としてできることを模索していきます。

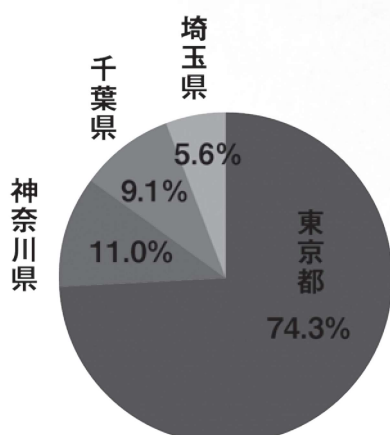
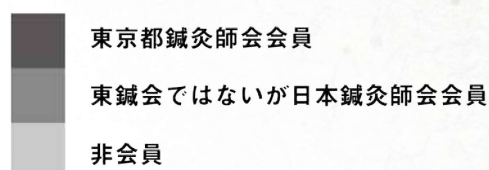
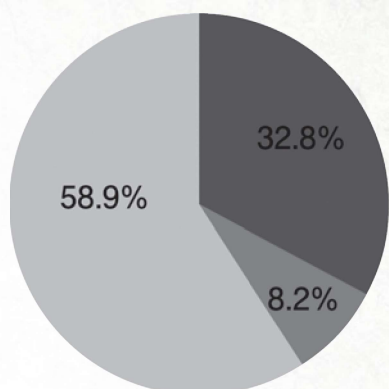
実施期間…2020年4月21日～28日

実施方法… 구글フォームによるアンケート

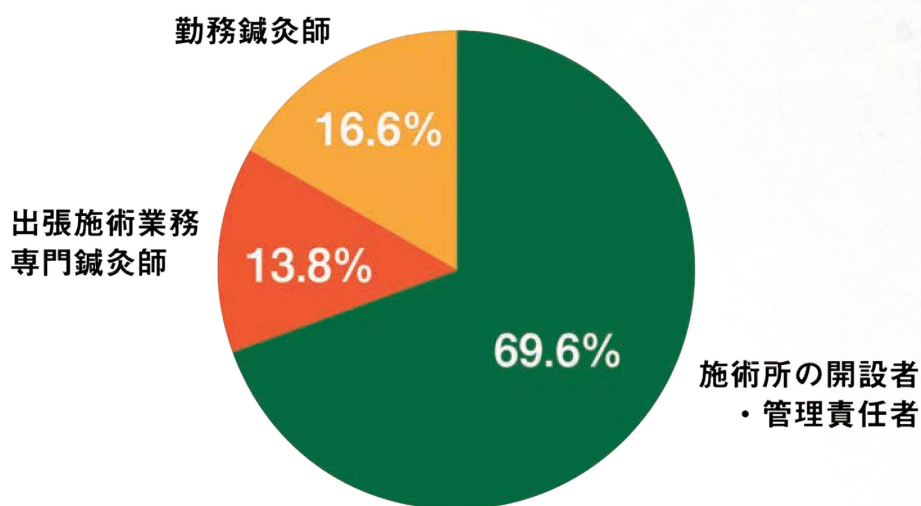
回答数…全回答(416)のうち特定警戒都道府

県の回答(319)のみ抽出

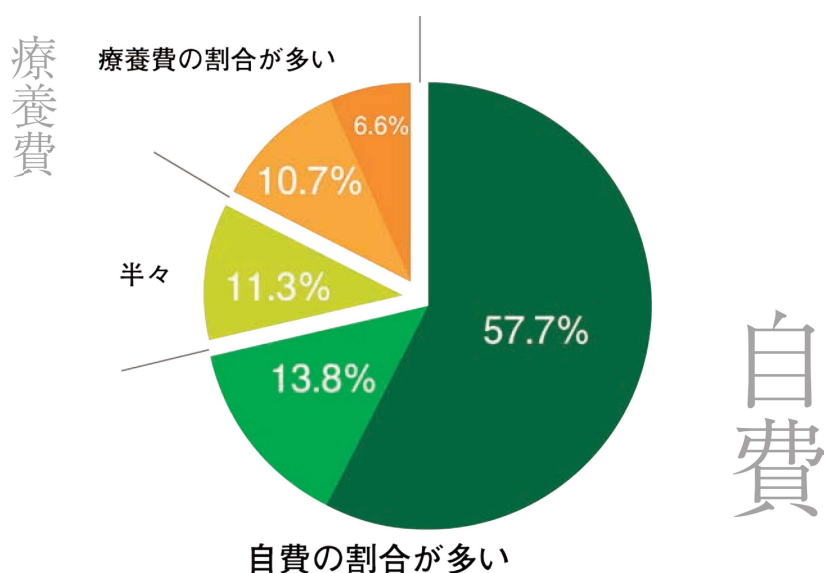
回答者の属性



あなたの立場は？

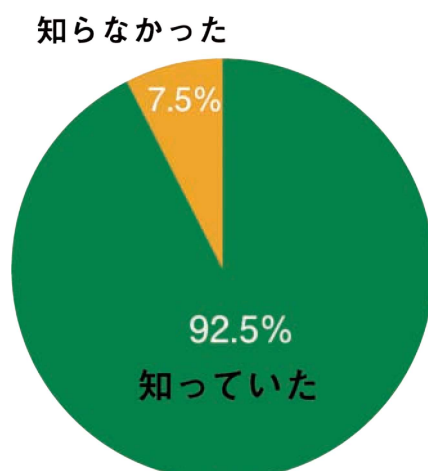


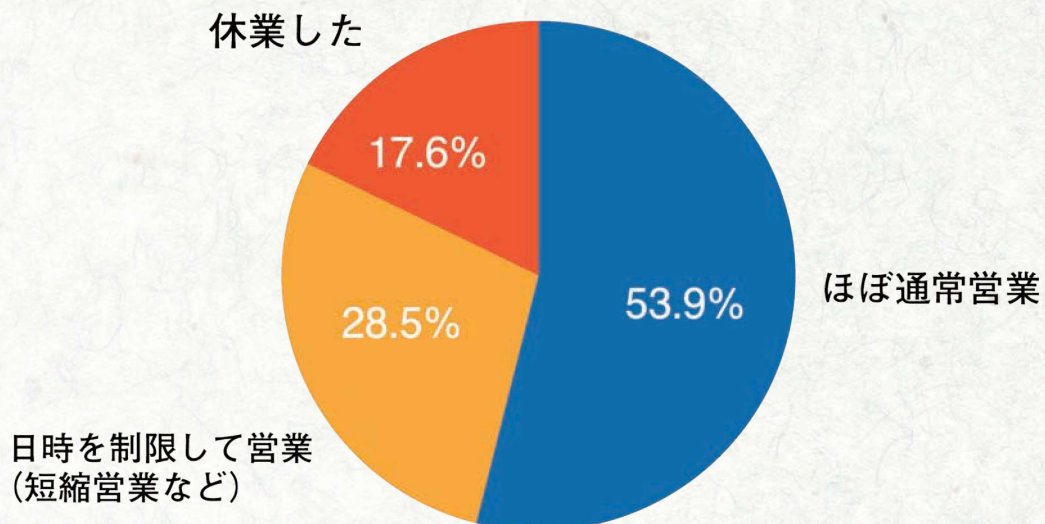
自費と療養費の割合



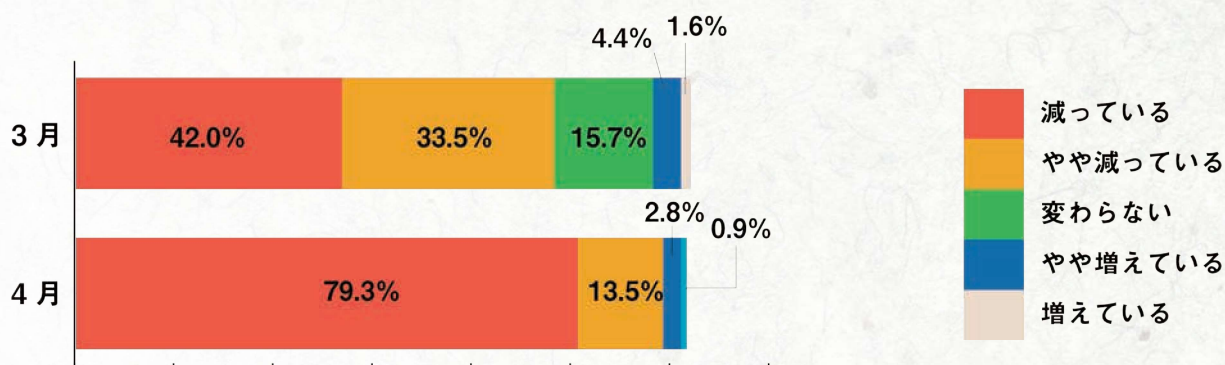
※5段階で記入

4月13日の東京都の緊急事態措置において、
鍼灸院が「社会生活を維持するうえで必要な施設」の「医療施設」のひとつに
記載されたことは知っていましたか？

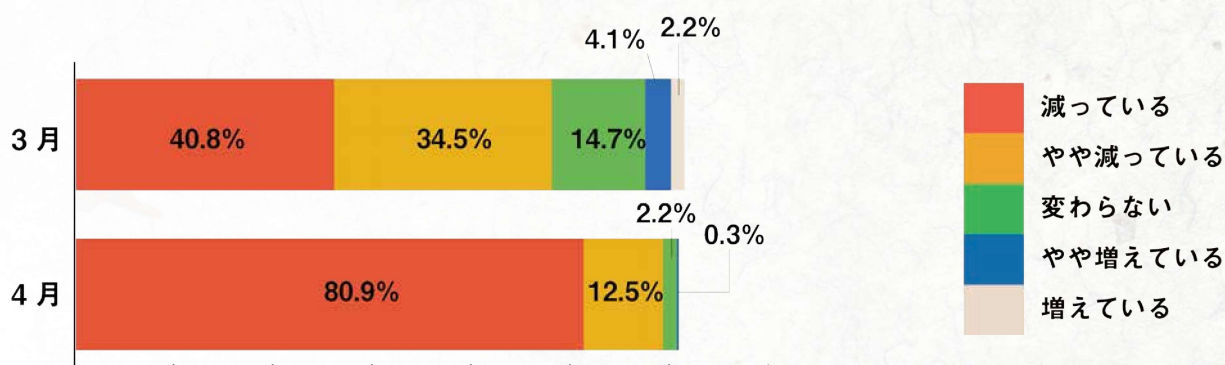




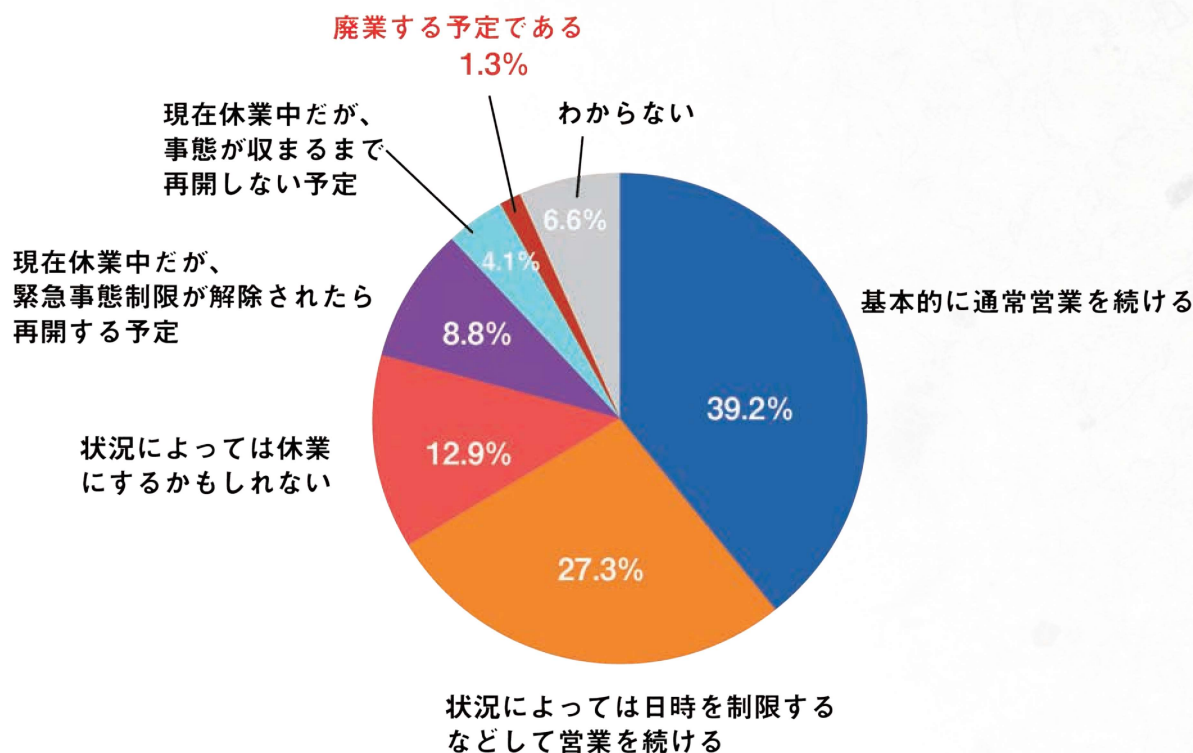
3月、4月の患者数に影響はありますか？ (昨年度対比)



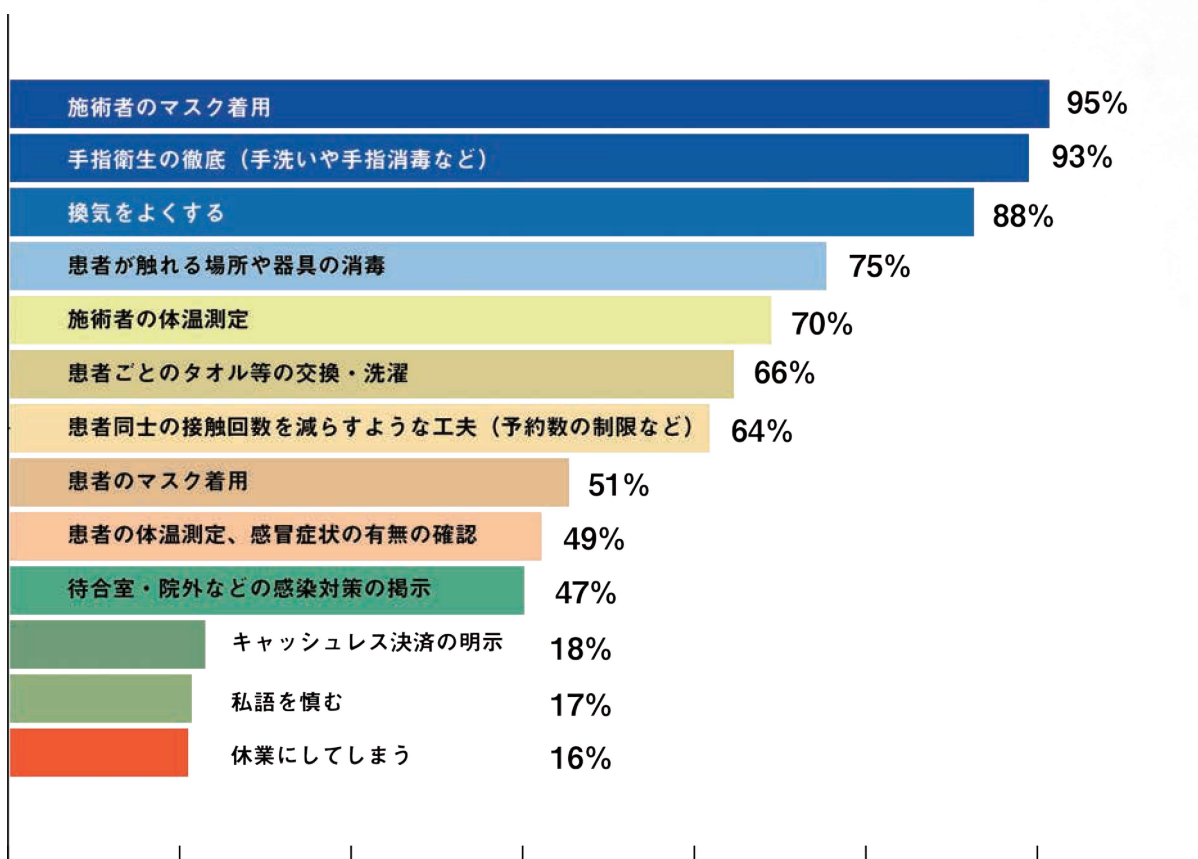
3月、4月の売上に影響はありますか？ (昨年度対比)



これからの営業

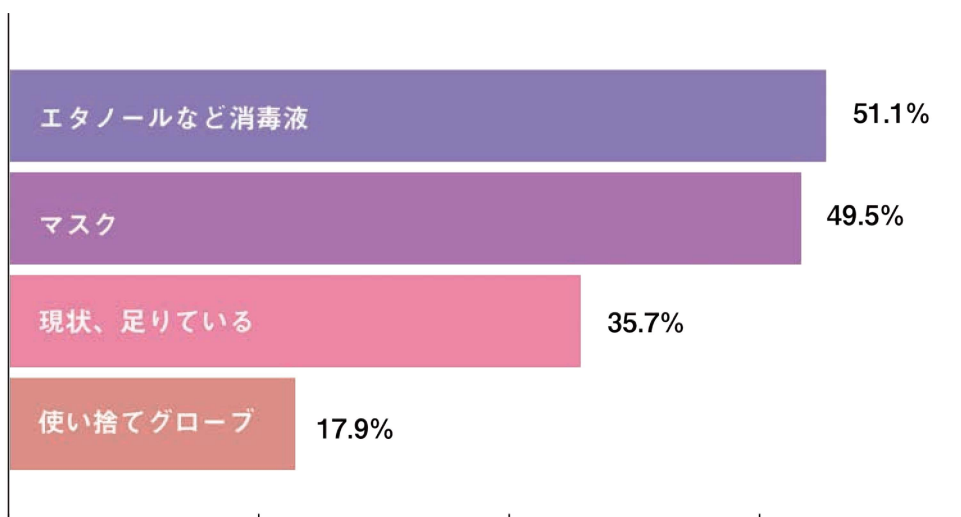


感染対策



そのほか

「HPのトップにコロナ対応策を明示している」「新規患者を受け付け停止」「術後のお茶の休止」「感染予防の声かけ、使い捨てシート導入、SpO₂や呼吸音の確認」「ご家族の体調の確認」など



そのほか

・ペーパータオル ・綿花 ・バンドソーブ

金銭的保障

休業補償、家賃の補助、従業員の休業補償、保険制度の見直し

物資提供

マスク、消毒薬などの支援

一般の方に鍼灸の可能性を伝える

- ・休業要請対象外にも関わらず、外出自粛等で鍼灸の必要性が伝わっていないため患者がこない
- ・医療従事者への鍼灸治療提供をしたい

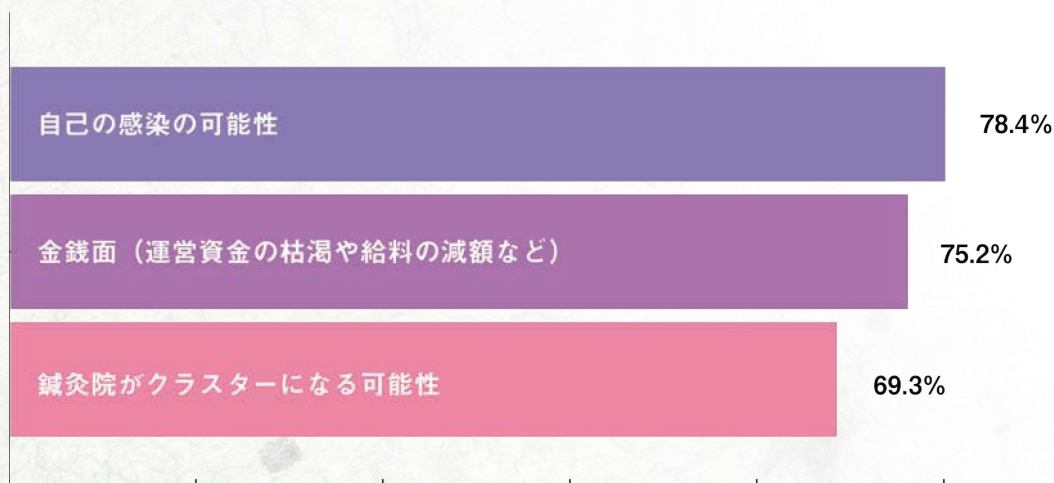
休業要請

- ・休業要請範囲外だが、顧客の減少は免れられず経営が難しい
- ・休業要請に加えて、給付金・助成金などの補償

衛生面の指導・情報発信

正しい情報の取得

※自由記述形式の回答を属性別に分類



そのほか

- ・自分が無症状感染者であり、患者様にうつしてしまう恐怖
- ・自分が感染源になる可能性
- ・抗体があるのかないのか知りたい。わかればもっと具体的に動けるようになる

物資提供

マスクや消毒液の給付、衛生用品や消毒剤等の購入斡旋など

金銭的保障

休業補償、売上減少を補填するお金、鍼灸師会年会費の減額など

衛生面の指導・情報発信

世間一般に鍼灸院が衛生的に信用できる施設として認められるよう、各鍼灸院の衛生への徹底指導や感染症対策セミナー

鍼灸の効果宣伝、鍼灸院のアピール

- ・休業要請の対象業種では無いことをアピールするポスターの作成
- ・鍼灸業界がワンチームになり、鍼灸が免疫の働きを良くすることなどをデータや論文などを用いて、医学的に発表し、世間にアピールすること。
- ・鍼灸は医療であるという事の啓発

都、国へ要望活動

情報提供、情報共有

その他

保険申請の超簡素化、業界が一丸となれるような働きかけ

※自由記述形式の回答を属性別に分類

感染対策、感染予防

- ・感染しないさせないを最優先しています。
- ・自分がコロナに感染しないように十分な睡眠、適度な運動、セルフではり治療などで体調維持
- ・元々ベッド一台の鍼灸院なのですが、予約と予約の間を一時間空けて、その間すべての窓とドアを開けて換気、消毒する
- ・タオル、シーツを患者ごとに交換。マスク着用、手洗いの徹底。手湯のサービス

患者さんへの情報提供

可能な限り正確な情報を回収して患者さんにも提供すること。不安を解消して安全な行動を促すと心身共に安定した分、感染の機会を減らし、持病の余計な悪化を防げる

オンラインでの取り組み

- ・患者さん向けオンラインセミナーの開催
- ・オンライン相談室を開室

SNS での情報発信

- ・ホームページや SNS 上で積極的な情報発信、および施術者の体温情報公開
- ・衛生管理と感染防止を徹底していることを SNS や HP で知らせて、不安感を払拭しています

自己の健康管理

- ・まずはとにかく自己の健康維持と周囲の安全確保・対面や接触する形でなくともできる健康指導方法のブラッシュアップ
- ・いまは第一に患者様の健康を最大限に考え、営業を自粛することだと思います

この度のアンケートは、東京都および首都圏における鍼灸師・鍼灸院の現状把握をすることを第一に実施しました。結果を受けて、業界団体としての行動につなげていきたいと考えております。

ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症に関する情報は常にアップデートされています。情報感度を高めながらこの難局を乗り切っていきましょう。